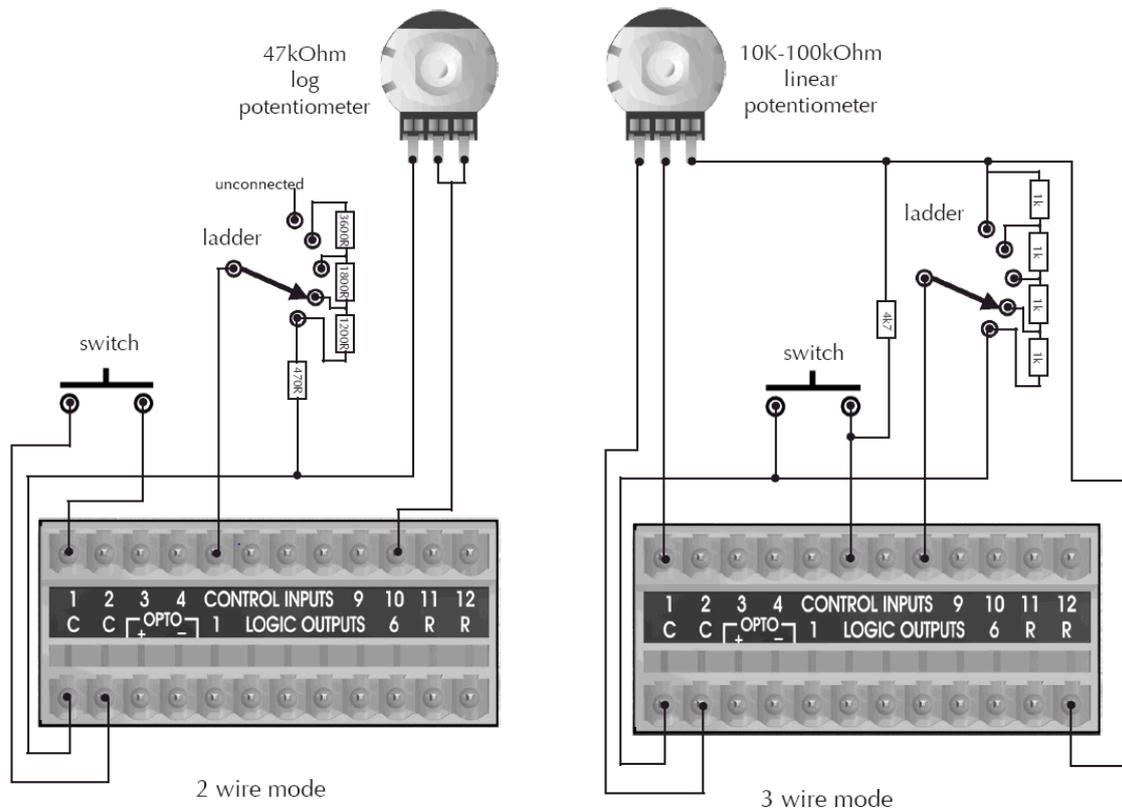


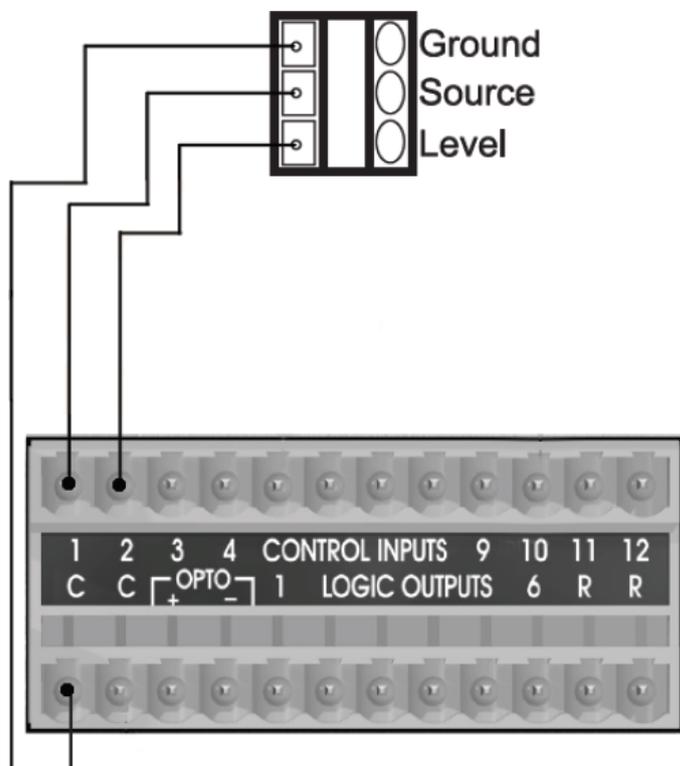
## GPIO の設定について



上記の抵抗、スイッチ構成で使います。

BSSのBLU3が、上図左側の5プログラム切替（ラダーSW）、  
音量調整（47KΩポテンショメータ）機能を有します。

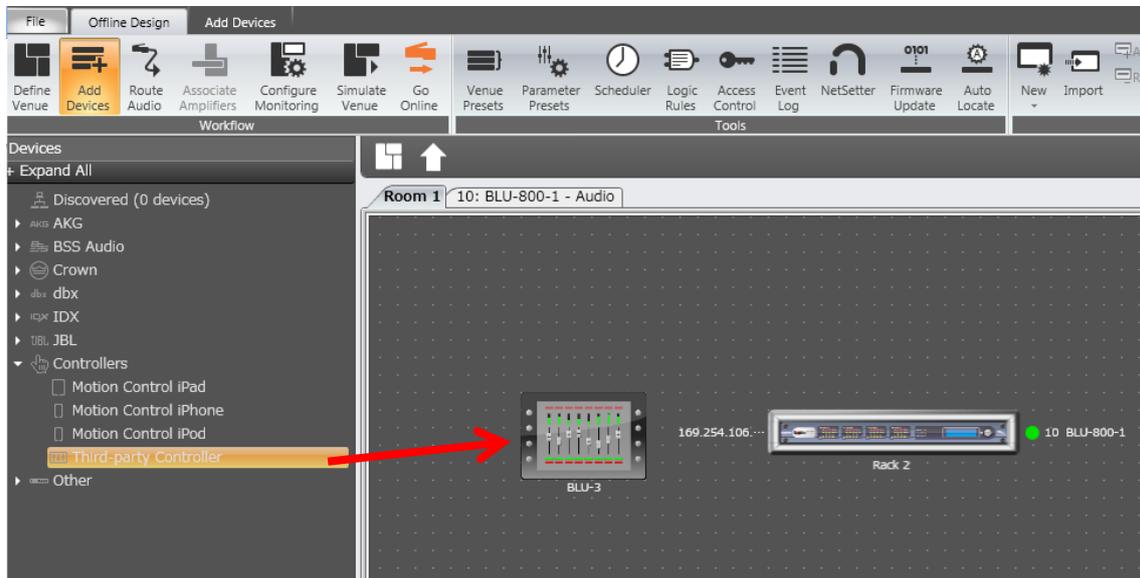
## BLU-3 (GPIO 接続モデル)



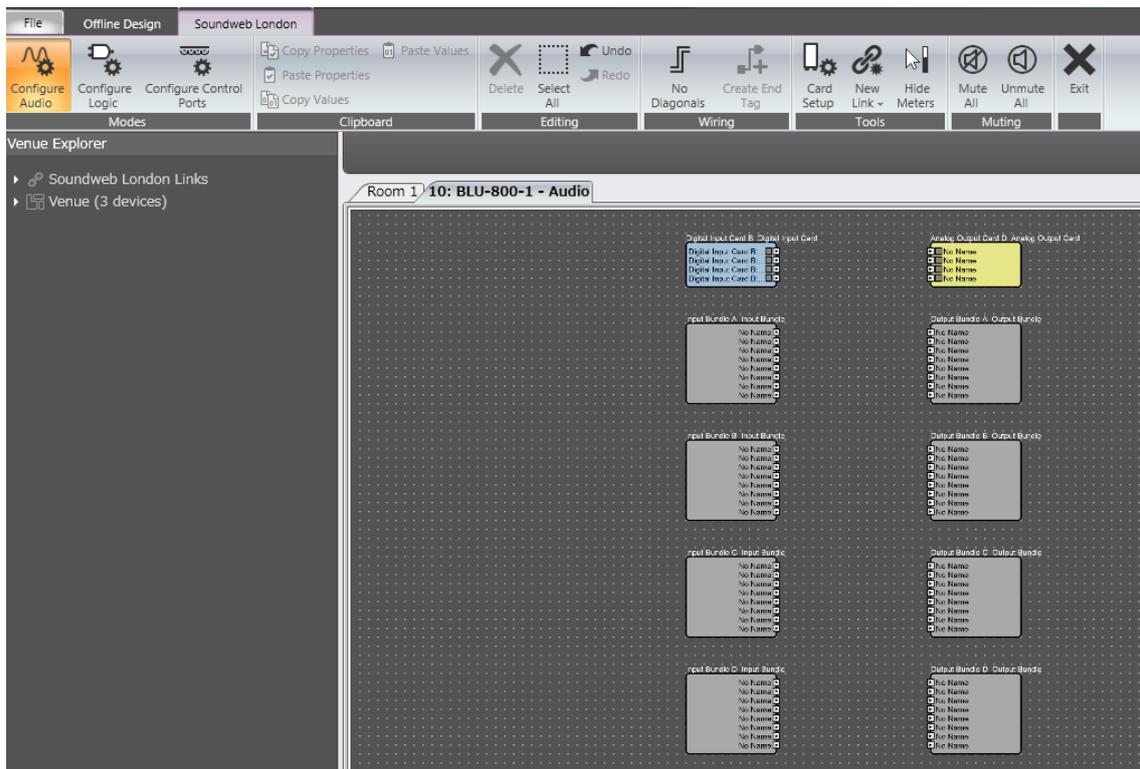
上記アサインをする際の GPIO アサイン方法は、以下の通りです。

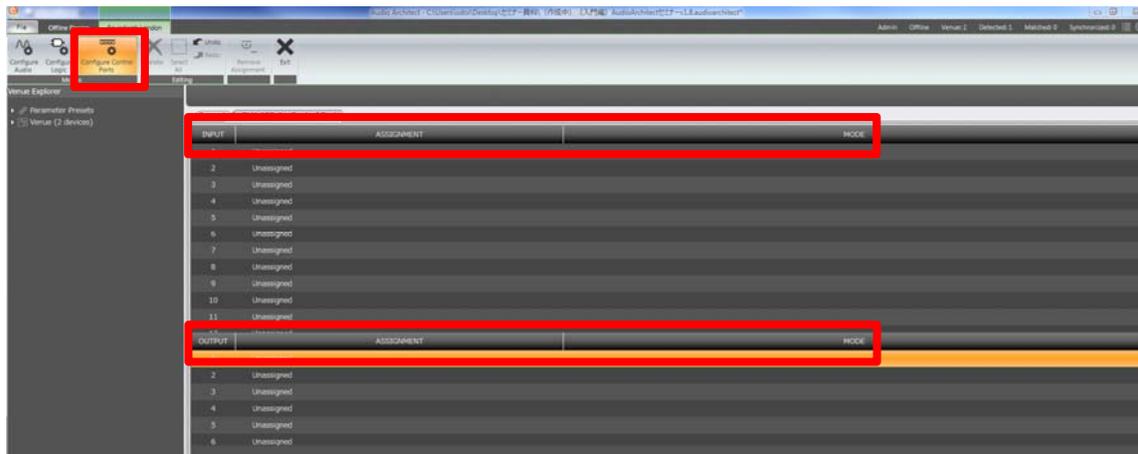
専用オブジェクトはないので、

「Controllers」の「Third-party Controller」を使ってください



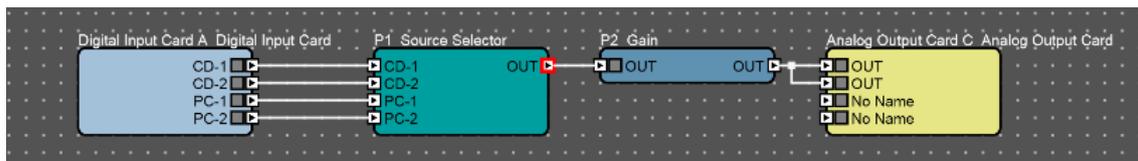
例として「BLU-102」を開きます。





赤い囲い内「Configure Control Ports」を選択すると、上記 GPIO の設定画面が開きます。  
(BLU102 を開くと、上部タブが Soundweb London を選択します)

例として「BLU-800」の「Source Selector」と「Gain」をアサインします。



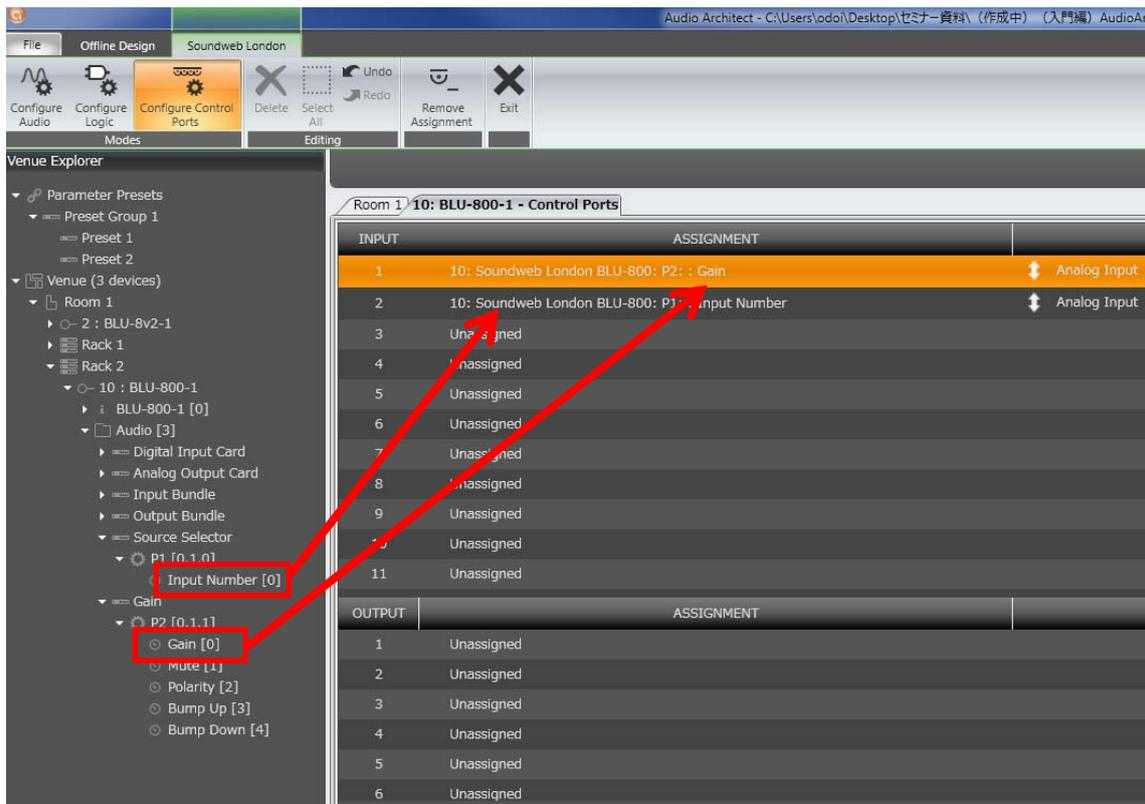
#### 5 択 Source Selector

- ・ 1 . . . None
- ・ 2 . . . CD-1
- ・ 3 . . . CD-2
- ・ 4 . . . PC-1
- ・ 5 . . . PC-2

#### Encoder

- ・ Gain (フェーダー)

を配置。



上記のように、左の Venue Explorer からドラック＆ドロップします。

INPUT1・・・BLU-3 のエンコーダーには Gain を設定

INPUT2・・・BLU-3 のセレクターにはソースセレクターを設定。

プリセット数とセレクターの選択数が違う場合、下記の挙動になります。

5 プリセット					
選択 No	1	2	3	4	5

4 プリセット					
選択 No	1	2	2	3	4

3 プリセット					
選択 No	1	1	2	3	3

2 プリセット					
選択 No	1	1	1	2	2

1 プリセット					
選択 No	1	1	1	1	1